

金沢大学ワンダーフォーゲル部 創立 65 周年記念総会・懇親会

24 期 仲村 正一

9 月 30 日（土）に KKR ホテル金沢で前田達男元顧問・西川潮顧問・都野展子新顧問をお招きし、OB 諸氏が集い開催されました。

（受付の様子）



（左：22 期森さん 中央：23 期戸水さん
右：23 期小久保さん）



（総会の様子）

—— 総会（司会 22 期 小林 正人） ——



（司会小林さん）

冒頭に司会から「創設期の主要メンバーでありました 3 期の鈴木兵一様・田村昭夫様があいづい

で逝去されました。二人をはじめご逝去された在りし日の先輩の姿を偲び黙とうをささげたいと思います。」の言葉がけをし、全員で黙とう。

会長挨拶（22 期 黒崎敏男）

5 年ぶりに皆さんの元気な姿をみてうれしいと感じます。私も 65 歳になり高齢者の部類に入りました。新型コロナの影響で活動が停滞しましたが、一方で、皆さんからの会費のご協力により財政面ではかなり改善しました。ただし 30 期までで全体の 9 割の会費入金がある構造は同様に、将来的に収入が減少していくことは避けられないと思っています。

この 5 年間、最小限のことしかできなかったと思います反省しているのですが、できるだけことはやってまいりました。ワンゲル部員も今年は 20 名近く入部したようです。創設期のメンバーの精神が受け継がれていっているのだと感じ、現役の支援にも力を注ぎたいと思います。



（黒崎 OB 会会長）

30 年間先輩方のご尽力で運営されてきた OB 会の活動の伝統を受け継ぎ、これからも努力していきたいと思っています。短い時間ですが総会、懇親会ではご協力よろしくお願いします。

【第 1 号議案 活動報告】

（会長）

- 創立 60 周年記念総会・懇親会の開催（2018 年 9 月）参加者 OB119 名、現役 15 名、来賓 2 名
- 60 周年記念 T シャツ作成
- OB 会会報誌「やまざと」vol. 33～37 の発行
毎年 12 月に発行 計 5 回
- 小屋作業の実施（年 1～2 回）

寺津にある車止めゲートは開閉する鍵を土木事務所から許可を得て借用しないとならず、自由に犀川ダムまで車で入れなくなっている。また、

ダムサイトの道の岩石の崩落、のり面の消失や川岸の浸食もあり山小屋まで行くのが難しい状況。

○現役とOB会役員との懇親会の開催

新型コロナの影響で2021年からは未実施。

これから再開していきたい。

○現役活動への支援

毎年1回以上実施（バス借り上げ費など）

○関東支部、近畿支部、東海支部など有志の活動が再開されている。11期青柳さんが25年間にわたり幹事を務めてこられたスキー合宿はスキーの会として有志で継続することとなった。

【第2号議案 会計報告】（23期 小久保光将）



（会計報告中の小久保さん）

過去5年間の会計報告及び次期予算案について説明。（詳細については「会計報告」を参照。）

23期竹内さんから金沢市の補助金の使途についての質問、さらに医王山の登山道の整備に変更してはどうかという提案がありました。

第1号議案、第2号議案一括して拍手をもって可決。

【第3号議案 やまざとの改訂について】（会長）

冊子形式での発行コストは過去10年間で見ると1年あたり印刷費28万円程度・郵送費6万円程度となっている。今後会費の減少が見込まれ、将来的にも長期間にわたりOB会の活動が維持できるようにしたい。そのためA4サイズでページ8枚のリーフレット形式としたい。内容はOB会としての活動記録や各支部の団体活動報告、同期会・現役の活動報告などを掲載する。

個人からの寄稿は従来どおりA4サイズ4枚程度として、OB会のホームページにて掲載する。

現行の冊子形式は65周年記念号vol.38をもって終了する予定。

質疑など

11期長岡さんから、ホームページに掲載されるvol.39以降での、皆様の個人投稿については、原稿とりまとめ編集からPDF化までを、今後5年間は責任を持って協力しますとの意思表示がありました。その際、これまでの挿入写真の枚数制限については緩和してほしいとのお願いもありました。

この意見について、会長から「ありがたいお申し出ですが、これに関しては事務局で責任をもって対応させて頂きたい」旨の回答がありました。

拍手をもって可決。

【第4号議案 会則改定及び役員選出】（会長）

新たに監事を設ける旨などの改定が提案され、監事は会計監査を含めた総合的な監査を行う役割であることの説明がありました。

また、20期久富象二さんがアドバイザーを退任し新たに監事に就任いただき、幹事の37期若山悟さんが退任し、23期の戸水利紀さんに就任いただくことの提案がありました。

拍手をもって可決。

その他意見交換など

11期長岡さんから、初代の倉谷ベルクハイムの計画・対外折衝・設計・施工管理をご担当の、6期合津様から、その将来については、「やまざと」前号の36ページのように（その要旨読み上げ）と、うけたまわってきました。誰よりもベルクハイムを愛された、昨年お亡くなりになった3期田村さんも、同じお考えでした。

金沢大学でホームカミングディが行われます。学長も出席される大変楽しい会です。我々の「北の都会」が懇親会の最後を校歌・寮歌で盛り上げます。皆様もご出席くださればと思います。

15期奥名さんから、会報誌「やまざと」の改訂で、私の趣味として作ってきたOB会ホームページで「やまざと」をPDFの形で続けて掲載することになりました。OB会ホームページについては引き続き担当させて頂きますが長期にわたっているので後任もぜひ検討ください。

他にも会費未払会員への対応を求める意見やその場合の「やまざと」の送付対応に関する意見もあり、会長からも発言し、双方で活発な質疑応

答がなされました。

最後に司会から「活発な意見交換ありがとうございました。総会は、これにて終了させていただきます。皆様のご協力ですつがなく進行させて頂きました。御礼申し上げます」の言葉があり終了。

以上の議事進行を行い、議案についてはすべて役員会提案のとおり議決を頂きました。

——懇親会（司会 23 期 森 恵利子）——

今回は着座スタイルの懇親会となりました。



（懇親会のはじまりの様子）

会長からの挨拶



〈会長〉

乾杯のご発声



（西川潮顧問）

都野展子先生から、西川顧問の海外出張の間、臨時の顧問を務める旨と自己紹介がありました。



（乾杯の様子）

引き続き、現役部長の大倉幸章さんから最近の活動報告がありました。



〈部長挨拶と現役活動の紹介〉

男女 67 名で活動をしている。月に 1 回程度の登山を目標にしている。夏は白山登山を行い泊付き登山も行っている。新型コロナの影響で一時期は登山活動が一切停止されるということがあったものの最近では活発に活動中。現役部員の登山についてスライドを交えて紹介してくれました。



その後は短い時間の中でしたが、皆さん旧交を温め、懇親を深めあった時間を過ごしました。

最後に都野展子先生から閉会のご挨拶を頂いたあと「森のうた」を合唱し、全体の集合写真を撮りお開きとなりました。

皆様のご健康と活発な活動を期待するとともに、5 年後の再会を楽しみにしています。



3 期～7 期の皆様



11 期～12 期の皆様



13 期～15 期の皆様



16 期～19 期の皆様



20 期～22 期の皆様



23 期～25 期の皆様



26期以降の皆様



都野 新顧問

13期柴田さんと66期登坂さん



12期赤地さんと現役生



8期～9期の皆様と15期奥名さん



皆様 楽しいひと時をありがとうございました。
また5年後にお会いしましょう。